

令和2年度

第2次出水市男女共同参画計画

実施計画事業評価

令和4年3月

出水市

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	①	固定的性別役割分担意識の解消に向けた学習の推進及び慣行の見直し

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	広く市民を対象とする男女共同参画に関する学習機会の提供	講演会・出前講座	企画政策課	A
2	男女共同参画社会の形成に向けた広報・啓発活動の推進	男女共同参画だよりの発行	企画政策課	A
3	男女共同参画の視点に立った社会教育・家庭教育の推進	各種講座等の開催	生涯学習課	A
4	男女共同参画社会の形成に向けた全庁的な理解の共有と意識の啓発	男女共同参画に関する職員研修の実施	総務課	A
		男女共同参画に関する職員研修の実施	企画政策課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 「男らしさ女らしさを押し付けないこどもとの接し方」をテーマに市民向け講座を開催し、市民24名が参加。 児童虐待、男女共同参画社会に関する言葉等に関するチラシを作成し、全戸配布した。 「性別にかかわらず個性と能力を發揮できる職場づくり」をテーマに職員研修を実施し、職員48名が参加した。</p> <p>【生涯学習課】 保幼小中で実施される家庭教育学級に講師を派遣した。</p> <p>【総務課】 女性の人権、ハラスメント、性別による役割分担意識の解消等に関する職員研修を実施し、男女共同参画意識の普及・啓発を図った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	講座の実施や啓発活動、研修の実施など十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>講座や研修会、啓発活動等を実施する中で、質（内容）や量（受講者数）がとても重要になってくる。質や量にもこだわりながら継続していただきたい。</p>
--

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	②	学校教育における人権・男女平等教育の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女共同参画の視点に立った人権・男女平等教育の推進	教職員への指導・研修の充実	学校教育課	A
2	学校における男女共同参画の視点に立った総合的なキャリア教育	教職員への指導・研修の充実	学校教育課	A
3	学校教育関係者が男女共同参画を正しく理解するための学習機会の提供及び情報提供の推進	各種研修会への参加	こども課	A
		県主催の人権教育研修への参加	学校教育課	A
		出前講座	企画政策課	A

2 取組状況

<p>【学校教育課】 様々な機会（研修会）を捉えて人権意識の醸成に努めた。 性別に関係なく個性を大切にされた進路指導等について、教職員や管理職を対象に延べ60人へ研修を実施した。 研修会への参加促進だけでなく、学習した内容を各学校へ還元する機会をもつように指導・助言した。</p> <p>【こども課】 4月に全職員が参加する私立保育園全体会において、保育の中での性的マイノリティへの配慮の必要性について確認した。</p> <p>【企画政策課】 市内中学校4校を対象に出前講座を実施した。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	教職員への指導・研修、子どもへの講座など十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>男女混合名簿など、学校でも男女共同参画の推進が進んでおり、今後もさらなる推進が重要になってくると考えられる。 また、LGBTQに関する教育が近年増えてきているが、LGBTQの問題の根底にはジェンダー平等があるというところまで含めて教育していく必要がある。</p>

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	③	性の多様性についての理解促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	性の多様性に関する啓発、相談対応	男女共同参画だよりの発行	企画政策課	A
		思春期保健事業	健康増進課	A
		管理職研修会	学校教育課	A
		学校内の相談窓口の設置	学校教育課	A
		困ったときのほっとダイヤル	学校教育課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だよりを3回発行し、性の多様性について理解促進を図った。</p> <p>【健康増進課】 市内中学1年生や随時の依頼に対して出前講座を計15回実施した。</p> <p>【学校教育課】 管理職に対してLGBTについての研修会を8回実施した。 人権尊重の理念を学校教育の基盤に据えるよう指導し、学校グランドデザインに人権教育の理念を明記した。 生徒や保護者への教育相談のため、「心の教室」設置した。また、アンケートも実施し、相談しやすい環境づくりに努めた。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	研修会や出前講座の実施など十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>学校や施設等のトイレについて、誰もが使用しやすいように整備を進めており、性の多様性についての理解が促進されてきていると思われる。 今後も、理解促進に継続して取り組んでいただきたい。</p>

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	2	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
施策の方向	①	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大に向けた環境整備の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女共同参画に関する男性の理解の浸透を図るための啓発の促進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
2	雇用分野における女性の参画の拡大を図る取組の推進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
3	市の審議会等委員への女性の登用を進める取組の推進	計画的な登用	企画政策課	A
4	市における女性職員の管理職登用推進	女性職員の能力発揮のための支援	総務課	B
5	自治会等地域活動における方針決定過程への女性の参画の拡大を図る取組の推進	意識啓発	企画政策課	A
		自治会長等研修会	くらし安心課	A
6	「男女共同参画の視点」と「協働」の手法を活用した地域づくりに関する学習の推進	NPO法人等の設立支援	くらし安心課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 国からの啓発ポスターを本庁、各支所、図書館等に掲示し、情報提供や啓発を行った。 また、各関係団体への直接周知も行った。審議会等委員への女性の登用→R3.3.31時点：20.6%</p> <p>【商工振興課】 関係機関からのポスター等を掲示のほか、関係法令や事業に関してもホームページや直接配付により周知を行った。</p> <p>【総務課】 女性管理職候補者の育成を目的とした研修に職員3名を派遣した。また、女性職員を対象としたキャリアデザイン研修を開催し、職員29名が参加した。</p> <p>【くらし安心課】 自治会連合会等に対し、意思決定への女性参画について依頼し、自治連だよりの内容が男女共同参画の視点に配慮した表現となっているか確認した。 コロナの影響により、研修の実施はできなかった。 既存のNPO法人や新規団体に対し、関係機関が実施する研修会等の情報提供を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	県が実施する企業対象の研修を活用するなどし、雇用分野への推進を工夫しながら取り組む。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

市における女性職員の管理職登用について、職域の拡大がとても重要であるため、継続・改善して取り組んでいただきたい。

また、雇用分野の取組が弱いように感じるため、改善して取り組んでいただきたい。

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	2	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
施策の方向	②	女性の能力発揮のための支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	女性の能力開発のための支援	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
		創業支援事業	商工振興課	A
2	農林水産業や商工業等の自営業の分野における女性の経営参画の促進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
		情報提供・啓発活動	農林水産整備課	A
		創業支援事業	商工振興課	A
		情報提供	農政課	A
		家族経営協定	農政課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 関係機関主催の女性セミナーの情報を庁内に掲示したり、HPでの周知を行った。 林業、漁業従事者への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p> <p>【商工振興課】 関係機関からのポスター等を掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知した。 また、支援事業等の情報を企業に直接案内を配付し、情報提供した。 在宅就業スキルアップ研修会も実施した。</p> <p>【農林水産整備課】 地域の担い手として性別を問わず重要な人材であることから、相互に協力した体制づくりをお願いした。</p> <p>【農政課】 女性起業研究会等で情報提供を行った。 家族経営協定について、指導や助言を行った。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	各企業や団体への直接の周知については、必要に応じて関係課と連携し、情報提供や啓発活動を充実させる。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

HPの周知のみではなく、その他の方法活用し工夫しながら取り組んでいく必要がある。

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい
施策の方向	①	雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保や非正規労働者の雇用環境の整備促進のための関係法令等の普及・啓発	広報啓発	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
2	セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等防止に向けた啓発	広報啓発	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
3	雇用に関する各種相談への対応	情報提供・啓発活動	商工振興課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だより女性活躍推進やハラスメントについて周知を行った。企業やへの直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p> <p>【商工振興課】 関係機関からのポスター等の掲示及び直接配付により、関係法令や事業に関してHPで周知した。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	各企業や団体への直接の周知については、必要に応じて関係課と連携し、情報提供や啓発活動を充実させる。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

雇用分野への取組が弱いように感じられる。一般企業への周知の方法をさらに工夫しながら取り組んでいただきたい。

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい
施策の方向	②	長時間労働の是正等の働き方改革の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	長時間労働の是正や年次有給休暇の取得促進、育児・介護と仕事の両立支援に向けた意識啓発	市民への広報啓発	企画政策課	A
		市職員に対する意識啓発	総務課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だよりで、ワーク・ライフ・バランスの重要性について掲載し、啓発を行った。</p> <p>【総務課】 年5日以上の子休取得促進のため、計画表を活用し、9月末時点で未取得者には通知を行った。 年休取得日数：平均9.9日 育児・介護については、固定的性別役割分担意識を持たず、当事者全員で担っていくことを案内した。</p> <p>【商工振興課】 関係機関からのポスター等を掲示及び直接配付を行い、関係法令や事業に関してHPで周知した。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	情報提供の内容をより具体的にするために、先進地の事例を含めての啓発・情報提供に取り組む。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>企業での取組がなかなか進んでおらず、市役所内での取組はやはり進んでいるため、市役所の取組を事例として各企業に紹介してもよいのではないかと思います。</p>
--

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい環境づくり
施策の方向	③	農林水産業や商工業等自営業の分野における就業環境の整備

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	農林水産業や商工業等の自営業の分野における就業環境の整備	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
		情報提供・啓発活動	農政課	A
		情報提供・啓発活動	農林水産整備課	A
		家族経営協定	農政課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 関係機関主催の女性セミナーの情報を庁内に掲示し、ホームページにも対象ごとにページを作成し、周知を行った。直接的な周知については、今後検討を行う。</p> <p>【商工振興課】 関係機関が発信する情報をHPや庁内に掲載した。また、企業に直接案内を配付した。</p> <p>【農政課】 関係機関から配布されるパンフレットの掲示や市内企業等に対する資料送付で周知。家族協定について指導、助言を行うなどの普及啓発を行った。</p> <p>【農林水産整備課】 地域の担い手として性別を問わず重要な人材であることから、相互に協力した体制づくりをお願いした。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	各企業や団体への直接の周知については、必要に応じて関係課と連携し、情報提供や啓発活動を充実させる。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>家族経営協定についての指導・助言については、指導・助言を行う職員がとても重要で、職員が男女共同参画についてしっかり理解しておく必要があるため、注意していただきたい。</p>

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい環境づくり
施策の方向	④	男性の家事・育児等への参画の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男性の意識改革と家事・育児等参画への気運の醸成	市民への広報啓発	企画政策課	A
		市職員に対する意識啓発	総務課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
		Peer Class（ママ・パパ教室）	健康増進課	A
		広報啓発事業	生涯学習課	-
2	仕事と育児や介護との両立のための制度等の周知	市民への情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
		母子健康手帳交付時相談	健康増進課	A
		保育環境の充実と保育サービスの情報提供	こども課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だよりの発行により固定的性別役割分担や女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスについて周知を行った。</p> <p>【総務課】 取得可能な子育てに係る休暇制度を対象男性職員に対し直接案内し、掲示板で全職員に周知した。 令和2年度：男性の育休取得率：0%→7%、男性の出生時休暇取得率：20%→54%</p> <p>【商工振興課】 関係機関からのポスター等を掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知した。また、関係企業には直接案内を配付した。</p> <p>【健康増進課】 ママ・パパ教室を14回開催、66組が参加。夜間開催や託児の手配を行い、参加しやすい環境の配慮を行った。 母子健康手帳交付の際に、情報提供を行い支援した。また、妊婦だけでなく、家族等にも情報提供を行い、周知を図った。 定例相談47回 230人</p> <p>【生涯学習課】 ママ・パパ教室において、夫婦の役割等について講話を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。</p> <p>【こども課】 会計年度任用職員の休暇制度一覧を私立保育園に送付し、情報提供を行った。 また、入所案内書類では、男女双方の意見を取り入れ、見直しを行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	企業の取組強化のために、取組事例を含めながら周知・啓発を行うなど、改善して取り組む。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

育休の取得率や出生時休暇の取得率の増加がみられ、とても良いと思われる。今後も継続して取り組んでいただきたいのと同時に、事例として取組を周知するのもよいかと思われる。
市内企業の取得率の把握にも努めていただきたい。

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	①	生涯にわたる男女の健康の包括的な支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	心身及びその健康についての正しい知識の普及と情報提供	健康相談・健康教育	健康増進課	A
		こころの相談会（こころの喫茶店）	健康増進課	A
		ゲートキーパー養成講座	健康増進課	A
2	男女の身体的違いやニーズを踏まえた健康づくりの支援	特定健診（長寿健診）	市民生活課	A
		特定保健指導	健康増進課	A
		健康教育・健康相談	健康増進課	A
3	がん検診受診率向上に向けた取組や女性特有の疾患等に関する普及啓発	女性がん検診	健康増進課	A
4	男女の健康状況や運動習慣の違いを踏まえた運動機会の提供	特定保健指導・健康教育・健康相談	健康増進課	A
		運動機会の提供	市民スポーツ課	A

2 取組状況

<p>【健康増進課】 健診後の結果報告会やおからだ相談会等で、年代や性別に合わせた健康づくりのための情報提供を行った。 こころの相談会（6回）は同報無線やチラシにより周知し、プライバシーが守られる環境整備に配慮して実施した。 ゲートキーパー養成講座は新規者向け講座75名（男33、女42）、継続者向け講座22名（男5、女17）が参加。 女性がん検診受診率 子宮頸がん20.2% 乳がん（マンモ）21.8%</p> <p>【市民生活課】 集団健診においては、土日健診や夜間健診の実施で受診しやすい環境づくりに取組んだ。 長寿健診受診率 30.50% 特定健診受診率 40.81%。</p> <p>【市民スポーツ課】 市民主催の自主事業活動等を支援し、市民の方々に運動機会の提供を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	各相談体制、講座の実施、受診率向上に向けた取組は十分に配慮されているため、現行の取り組みを継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

講座は参加者も多く、とても充実していると思われる。
受診率の向上に対する取組も、これからもさらに頑張っていってほしい。

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	②	妊娠・出産等に関する健康支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）についての理念の普及啓発	広報啓発	企画政策課	A
		Peer Class(ママ・パパ教室)	健康増進課	A
2	妊娠・出産期における健康管理の充実	母子健康手帳交付	健康増進課	A
3	不妊・不育治療に関する支援の充実	不妊・不育治療に関する支援の充実	健康増進課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だよりでリプロダクティブ・ヘルス/ライツの重要性について掲載し、啓発を行った。</p> <p>【健康増進課】 ママ・パパ教室では夜間開催や託児による参加しやすい環境配慮を行うことで、夫婦で子育てや母子の健康を考える機会の提供を行った。 母子健康手帳交付372人。妊娠から出産・産後の健康管理のため、関係機関と連携を図りながら、必要な支援を提供した。 一般不妊治療申請40件。特定不妊治療申請者50件。関係機関との連携により男性不妊治療も含めて増加傾向。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	啓発活動や妊娠・出産・育児に関する支援は十分に配慮されているため、現行の取り組みを継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>不妊治療の取組が充実してきているが、不妊治療は企業側の理解も重要となってくるため、企業側への周知も頑張っていたきたい。</p>
--

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	③	性に関する正しい理解の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	性に関する正しい知識の普及	思春期保健事業	健康増進課	A
		性に関する教育	学校教育課	A

2 取組状況

<p>【健康増進課】 妊婦体験や赤ちゃんとのふれあい体験等、性に関する指導を目的とした出前講座を実施した。 対象：市内全中学校、中学1年生。</p> <p>【学校教育課】 健康増進課と連携し、市内中学校において出前講座を実施した。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	性に関する正しい理解を促進するための講座の実施は、十分に配慮されているため、現行の取り組みを継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>現在、性犯罪が全国的に増えており、性教育がとても重要であるとされているため、継続して取り組んでいただきたい。</p>

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	①	ひとり親家庭等への支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	ひとり親家庭等への支援	児童扶養手当	こども課	A
		ひとり親家庭等医療費助成	こども課	A
		高等職業訓練促進給付金等事業・自立支援教育訓練給付金事業	こども課	A

2 取組状況

<p>【こども課】 児童扶養手当支給額 1,073人 620世帯 336,759千円。 ひとり親家庭医療費助成 13,328件、30,694千円。 高等職業訓練促進給付金 受給者7人、自立支援教育訓練給付金 受給者 1人。 窓口では様々な事情を抱える人が申請しやすいものとなるよう配慮し、経済的支援や孤立に陥らないための支援を関係課と連携して行った。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	ひとり親家庭等への支援に関する事業実施は、十分に配慮されているため、現行の取り組みを継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

特に意見なし

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②	高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境の整備

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	高齢者の就業促進と雇用の確保	シルバー人材センターの運営支援	いきいき長寿課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A
2	高齢者の自立に向けた生活支援	ふれあいバス・乗合タクシーの運行	くらし安心課	A
		むらづくり団体への活動支援	農政課	A
		地域見守りネットワーク支援事業	いきいき長寿課	A
		地域支援事業費（各種事業含む）	いきいき長寿課	A
3	高齢者の人権を尊重する介護の質の向上の促進	保険給付費（各種事業含む）	いきいき長寿課	A
		介護サービス等に関する情報提供	いきいき長寿課	A
		介護者の支援	いきいき長寿課	A
4	障がい者の自立支援と生活環境の整備	相談支援の充実	福祉課	A
		就労支援	福祉課	A
		社会参加の促進	福祉課	A
5	複合的な困難や課題に直面しやすい人々への支援	人権相談	市民生活課	B

2 取組状況

<p>【いきいき長寿課】 シルバー人材センターへの運営費補助を行った。会員数278人（うち男性188人、女性90人）。自治体単位の見守りグループ設置や活動に対する支援や啓発活動を行った。ころばん体操実施や家族介護者交流の支援を実施した。男性参加者が少なく課題である。介護サービス等に関する情報提供を全市民に対して周知し、個々の生活状況に合わせたサービス提供を行った。 介護に関する事業への申請者や参加者を見ると、圧倒的に女性が多く、介助、介護者とも妻・子の妻等の女性に依存している傾向にある。</p> <p>【商工振興課】 関係機関からのポスター等を掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知した。また、関係企業に直接案内を配付した。</p> <p>【くらし安心課】 ふれあいバスや乗合タクシーを運行。男女双方の意見を取り入れ周知を行った。</p> <p>【農政課】 むらづくり活動における各行事計画策定の指導、助言を行うなどの普及啓発を行った。</p> <p>【福祉課】 同性職員での対応等、相談者の状況に応じた相談対応や個々の生活状況に応じた必要な支援の提供を行った。 社会参加促進のため、外出支援や手話奉仕員の養成等を行った。</p> <p>【市民生活課】 新型コロナウイルス感染症対策のため、相談所の設置はできなかったが、広報紙やホームページを通して周知を行った。国や県の見本を参考に広報を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	男女共同参画担当課と各事業担当課で連携して、より細やかな支援ができるよう改善して取り組む。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>女性専用のグループホームの整備がなかなか進んでいない現状がある。 高齢者や障がい者への支援は、性別、状況等細やかな支援が重要であるため、男女共同参画の担当課から、各事業の担当課への働きかけも重要である。</p>

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	③	生活困窮者等への支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	生活困窮状態にある人に対する自立に向けた支援	生活困窮者自立支援事業	福祉課	A

2 取組状況

<p>【福祉課】 自立相談支援実績191件、就労準備支援実績1件、住居確保給付金7世帯（39月）、一時生活支援実績0件。 様々な事情を抱える人が相談しやすいように個室での相談対応等、相談者への配慮を行った。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	生活困窮者等への取組については、十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>生活困窮者の中には若者も多いため、若者に特化した支援も行っていただきたい。</p>
--

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	6	男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶
施策の方向	①	配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	暴力を容認しない意識の醸成	広報・啓発	企画政策課	A
		広報・啓発	市民生活課	B
		婦人相談	安心サポートセンター	A
2	交際相手からの暴力（デートDV）の予防啓発	情報提供	企画政策課	A
		保健センターと連携した事業	学校教育課	-
3	安心して相談できる相談環境の整備	家庭児童相談・婦人相談	安心サポートセンター	A
		母子相談	健康増進課	A
		相談機関の周知	生涯学習課	A
4	被害者の安全確保と心身の健康回復・自立に向けた支援	ドメスティック・バイオレンス（DV）対策	企画政策課	B
		住民基本台帳の閲覧等を制限する措置	市民生活課	A
		緊急生活支援対策	住宅課	A
		子育て短期支援事業	こども課	A
		女性相談センターや警察等との連携	安心サポートセンター	A
		高齢者虐待防止ネットワーク推進協議会	いきいき長寿課	A
		母子健診・相談・訪問	健康増進課	A
5	家庭内の暴力により心理的外傷を受けた子どもへの支援	児童相談所や警察等との連携	安心サポートセンター	A
		子育て短期支援事業	こども課	A
		こども課等と連携した事業	学校教育課	A
		母子健診・相談・訪問	健康増進課	A

2 取組状況

【企画政策課】

HP、無線、全戸配布等により、DV及び児童虐待防止の広報啓発を行った。
DV対策庁内連絡会議は行えなかったが、安心サポートセンター設置による窓口の一元化を図った。
また、安心サポートセンターへ国や県からの通知に関して情報提供を行った。

【市民生活課】

広報紙やHP等を通して人権及び人権相談について周知した。
リプロダクティブ・ヘルス/ライツの理解を図る視点を含めることができず、一般的な啓発内容となってしまった。
関係課との連携体制を整え、支援措置や情報保護に努めた。措置対象者44人。

【安心サポートセンター】

婦人相談員1名、家庭相談員兼母子父子自立支援員3名を配置し、配偶者や交際相手からの暴力被害等の相談に対応した。
個室や電話での相談対応によりプライバシーに配慮した体制を整備した。
関係機関との情報共有や家庭訪問の同行等を行い、被害者の支援の体制を整備した。

【学校教育課】

デートDVに関する講座は実施できなかった。
関係機関との連携強化のためのネットワーク会議を年2回開催し、安心サポートセンターと常に連携を図っている。

【健康増進課】

相談者の心情に配慮した相談体制整備や関係機関等と連携しながら支援を行った。
関係機関と連携し、必要な情報を共有しながら支援の方向性を検討した。

【生涯学習課】

家庭教教育に関するリーフレットに相談窓口一覧を掲載し、研修会・イベント等で配布した。

【住宅課】

DV被害者に対し、公営住宅を優先的に貸出を行った。実績3名。

【こども課】

4箇所の子童養護施設と委託契約を締結し、要保護児童が入所できる体制を整えた。利用実績2名。

【いきいき長寿課】

高齢者虐待防止ネットワーク推進協議会を開催し、関係機関と連携した支援の体制整備を行った。

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	暴力の防止について、各関係課と連携しながら幅広く研修を行う。また、支援を必要としている人の早期発見に向けて、より充実した広報及び連携を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

スポーツ指導の場においても問題があったりするため、指導者を対象とした研修にも担当課と連携し、取り組んでいただきたい。

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	6	男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶
施策の方向	②	ハラスメント等の防止に向けた取組の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	セクシュアル・ハラスメント等防止に向けた取組	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工振興課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 関係機関が発信する情報をHPや庁内に掲載し、関係課へも直接周知を行った。</p> <p>【商工振興課】 関係機関からのポスター等を掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知した。 また、関係企業へ直接案内を配付した。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	ハラスメントに関する啓発は十分に配慮されているため、現行の取り組みを継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

市役所や各施設にセクシュアル・ハラスメント等の防止や相談窓口についての案内等の周知ポスターが掲示されており、今後も継続して取り組んでいただきたい。

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	①	人材育成等による地域コミュニティの基盤づくりの推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	地域での男女共同参画の推進を担う人材の育成・支援	市民を対象とした男女共同参画講座の開催	企画政策課	A
		地区コミュニティ協議会の活動支援	くらし安心課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 市民向けに男女共同参画講座を開催した。</p> <p>【くらし安心課】 性別による固定的役割分担意識に基づいた慣行の見直しや意思決定過程に女性が参画しやすくなるような雰囲気づくりを依頼した。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	地区コミュニティ協議会を対象とした研修に取り組むなど、より直接的な働きかけを行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

地区コミュニティ協議会への研修にも、積極的に取り組んでいただきたい。

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	②	男女共同参画の視点に立った防災体制の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	地域における生活者の多様な視点を反映した防災体制の推進	防災会議	くらし安心課	B
		女性消防団員の災害等における活動	消防本部	B

2 取組状況

<p>【くらし安心課】 性別に配慮した避難所運営を行うため、必要な情報収集を行った。 令和2年度の防災会議の委員に占める女性の割合4%。今後、各団体に女性委員の積極的な登用を依頼する。</p> <p>【消防本部】 消防団活動に関する広報周知等は行えなかったが、女性団員の定例会議を行い、男性だけでなく、女性の意見を取り入れた。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	B	ウ	各団体へ女性委員の意見の重要性を訴え、積極的な登用を依頼する。また、消防団活動に関する広報についても、継続的に行い男女共同参画の視点に立った防災体制の推進を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>防災体制の推進はこれからも重要であるため、力を入れて取り組んでいただきたい。</p>

令和3年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和2年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	③	男女共同参画の視点に立った自治会等地域活動の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	各種団体・組織等における方針決定過程への女性の参画を進める取組の推進	情報提供	企画政策課	A
		自治会役員への女性の参画拡大	くらし安心課	B
		むらづくり団体への啓発活動	農政課	A
		学習会の開催	生涯学習課	A
		スポーツ推進委員の女性の参画拡大	市民スポーツ課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 県が発行する団体等への男性・女性参画率に関する統計データをホームページに掲載し啓発を行った。</p> <p>【くらし安心課】 自治会長に占める女性の割合2.0%（5人／251人）。各自治会の方針決定過程への女性参画拡大について協力依頼したが、自治会への研修は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。各自治会の女性の役員参画状況の把握については、役員体制が各自治体ごとに異なるため、難しい。</p> <p>【農政課】 むらづくり活動において、各種行事計画策定等の際に指導、助言を行うなどの普及啓発を行った。</p> <p>【生涯学習課】 多くの事業や研修会が中止・縮小開催となったが、通知や案内の中に家庭教育に関する資料を入れ込むなどの手立てを行った。</p> <p>【市民スポーツ課】 地域の活動団体との連絡調整、実技指導及び組織の育成に取り組んだ。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	自治会への女性参画拡大についての協力依頼や、むらづくり活動への指導、助言など取り組んでいるが、より直接的に研修の案内や情報の周知を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

現状として、自治会の活動の中には課題が多くあるため、女性が意思決定の場に入る重要性について、自治会への研修を実施するなどして、推進を行っていただきたい。